令和４年度　教科専門　中学校（音楽）　解答例

受験校種	中	教科科目	音楽	試験区分	Q	受験番号					

1	（1）	①	多様性
		②	体験
		③	愛好
	（2）	①	J
		②	D
		③	E
2	（1）	①	ふさわしい
		②	奏法
		③	身体
	（2）	ウ	
3	（1）	①	ねらい
		②	選択
	（2）	①	旋律
		②	音色
		③	リズム
		④	テクスチュア

令和４年度　教科専門　中学校（音楽）　解答例

受験校種	中	教科科目	音楽	試験区分	Q	受験番号					

		読　み　方	意　味
4	（1）	カランド	弱くしながらだんだん遅く
	（2）	ジェンティーレ	優しく穏やかに
	（3）	ディヴィジ（ディビジも可）	分けて
	（4）	クワジ（クアジも可）	ほとんど～のように
	（5）	マノ　シニストラ（マーノ　シニストラも可）	左手で

5	（1）	柱の左側部分の弦をつまみ、右の方に引いて音をわずかに低くする左手手法。
	（2）	調にかかわらずハ音をドと読む。ドの位置が調にかかわらず固定している。
	（3）	文学や絵画などの音楽外の観念、表象と結び付かない音楽のこと。
	（4）	コード進行ではなく旋法（モード）に基づき、自由なアド・リブを行うジャズ。
	（5）	演奏に際しての、音の切り方、つなげ方で音楽全体の動きに形や表情を与える。

6	（1）	B
	（2）	A
	（3）	D
	（4）	A
	（5）	D
	（6）	D
	（7）	A

令和４年度　教科専門　中学校（音楽）　解答例

受験校種	中	教科科目	音楽	試験区分	Q	受験番号					

7	（1）	赤とんぼ	
	（2）	作詞者名	三木　露風
		作曲者名	山田　耕筰
	（3）	荒城の月	
	（4）	変ホ長調（Es dur も可）	
	（5）	４分の３拍子	
	（6）	とまっているよ　さおのさき	
	（7）	「知識及び技能」 （解答例） 既習の４分の４拍子と、４分の３拍子の違い、速度の違いによる曲想と歌詞の内容との関わりを理解し、それを生かした表現で歌うために必要な発声や言葉の発音などの技能を身に付けて歌う。	
		「思考力・判断力・表現力等」 （解答例） ４分の３拍子のリズム、曲のイメージに合った速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「赤とんぼ」の歌詞にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	

令和４年度　教科専門　中学校（音楽）　解答例

〔6 枚のうち 4〕

受験校種	中	教科科目	音楽	試験区分	Q	受験番号					

8				
	（1）	勧進帳		
	（2）	弁慶		
	（3）	毛越寺		
	（4）	①	囃子方（囃子でも可）	
		②	義太夫節	
		③	掛合（かけあい、掛け合い　も可）	
	（5）	①	人形	
		②	太	
	（6）	（解答例）音の高さを変化させながら、長く延ばして歌う母音のこと。		
	（7）	ア	①	批評
			②	明らか
		イ	①	B
			②	H

令和４年度　教科専門　中学校（音楽）　解答例

受験校種	中	教科科目	音楽	試験区分	Q	受験番号					

8	（8）	目標	【知識及び技能】　（解答例） 歌舞伎の長唄と文楽の義太夫節の音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。
			【思考力・判断力・表現力等】　（解答例） 長唄、義太夫節のそれぞれの音色、旋律、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、その背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
			【学びに向かう力・人間性等】　（解答例） 歌舞伎と文楽の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、それぞれの伝統音楽を比較聴取しながら音楽のよさや美しさを味わうことに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。

令和４年度　教科専門　中学校（音楽）　解答例

受験校種	中	教科科目	音楽	試験区分	Q	受験番号					

9